

M7CL アップグレードガイド

このガイドでは、M7CL(M7CL-48、M7CL-32、M7CL48-ES)のファームウェアを最新版(V3.x)にアップデートする手順を説明します。

■ 必ずお読みください

- ・ アップデート作業は、お客様ご自身の責任において行なっていただきます。
- ・ ファームウェアを(V1 または V2 から)V3 にアップデートすると、M7CL 内部の設定データはすべて初期化されます。アップデートする前に、必ず設定データをバックアップしてください。古いバージョンで保存したデータは、新しいバージョンで読み込むことができます。
- ・ アップデート作業中に M7CL の電源を切ったり、USB 記憶装置を取り外したり、このガイドに記載された手順と異なった操作をしたりすると、M7CL が故障する場合がありますのでご注意ください。
- ・ アップデート作業に失敗し、もう一度アップデート作業を実行しても M7CL が正しく動作しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ・ このガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このガイドの一部、または全部を無断で複製、改変することはできません。

■ アップデートの準備

1. USB 記憶装置(USB フラッシュメモリー)と、USB 端子を装備したコンピューターを準備します。
2. M7CL 内部の設定データを USB 記憶装置または(現在のファームウェアバージョンに対応した)M7CL Editor にバックアップとして保存します。
USB 記憶装置に保存する場合は、SETUP 画面から SAVE/LOAD ポップアップウィンドウを呼び出します。
重要: ファームウェアを(V1 または V2 から)V3 にアップデートすると、内部の設定データはすべて初期化されます。アップデートする前に必ず設定データをバックアップしてください。
3. 最新のファームウェアをヤマハ プロオーディオウェブサイトからダウンロードします。
<http://proaudio.yamaha.co.jp/downloads/>
4. フォーマット済み(FAT12/FAT16/FAT32)の USB 記憶装置をコンピューターの USB 端子に挿入します。
フォーマット方法については、コンピューターや USB 記憶装置をご参照ください。M7CL 本体でフォーマットする場合は、M7CL 取扱説明書をご参照ください。
USB 記憶装置の容量は、16GB まで動作確認済みです。また、M7CL V1.12 以降でフォーマットした場合、

4GB 以上のメモリーは FAT32 に、2GB 以下のメモリーは FAT16 にフォーマットされます。

5. ダウンロードしたファイルを解凍し、「m7cl_frm***」フォルダー(***はバージョン番号)にある 4 つのファイル(拡張子 .PGM)を USB 記憶装置のルートディレクトリーにコピーします。
6. コピーが完了したら、USB 記憶装置を取り外します。
USB 記憶装置の取り外し方法については、コンピューターや USB 記憶装置の取扱説明書をご参照ください。

■ ファームウェアのアップデート

重要: M7CL-32/48 のファームウェアを V3 から V1 または V2 にダウングレードする場合は、設定データをバックアップしてから、アップデートを開始する前に、必ず内蔵メモリーの初期化を実行してください。初期化を実行せずにファームウェアをアップデートすると、メモリー構成の違いにより、画面右下に“Starting System”が点滅表示した状態で動作が停止することがあります。この場合は、一度本体の電源をオフにしてから、SCENE MEMORY [STORE]キーと[▲]キーを同時に押したままで電源を入れ直すと、メモリーが初期化され、約 1 分後に通常モードで起動します。

ファームウェアを(V1 または V2 から)V3 にアップデートする場合

1. M7CL 本体の電源を切っておきます。
2. USB 記憶装置を M7CL の USB 端子に挿入し、M7CL の電源を入れます。
「Start Loading ?」のメッセージが表示されます。
3. OK ボタンを押すと、ファームウェアの読み込みが開始されます。
注意: ファームウェアの読み込み中は、「Loading...」のメッセージが表示されます。読み込みの進捗に伴って「.....」が表示されます。この間は USB 記憶装置にアクセス中なので、USB 記憶装置を M7CL から取り外したり、M7CL の電源を切ったりしないでください。
4. ファームウェアの読み込みが完了すると、M7CL が自動的に再起動し、「Starting System...」というメッセージが点滅表示されます。
この間は、自動的に内蔵メモリーの初期化(約 1 分)が実行されるので、電源を切らないでください。電源を切ってしまった場合は、電源を入れ直すとこの状態から再開します。
5. 「Since M7CL was upgraded, Initialize all memories.」のポップアップウィンドウが表示されたら、CLOSE ボタンを押して閉じます。
6. 起動メニュー画面右下の EXIT ボタンを押して、通常モードで起動します。
7. ファンクションアクセスエリアの ACCESS インジケーターが消えていることを確認してから、USB 記憶装置を取り外します。

8. 必要に応じて、SETUP 画面のバージョンフィールドで、正しくアップデートされていることを確認します。また、必要に応じて、起動メニュー画面でタッチスクリーンの位置を補正します(キャリブレーション機能)。詳細は、M7CL 取扱説明書をご参照ください。

以上でアップデート作業は完了しました。

必要なデータをバックアップしてある場合は、SAVE/LOAD 機能や(新しいファームウェアバージョンに対応した)M7CL Editor を使ってデータをロードしてください。Administrator のパスワードが設定されていた場合は、パスワードを設定し直してください。また、V1 からアップデートした場合はモニターレベルが0に初期化されているので、トップパネルの MONITOR LEVEL ノブを少しだけどちらかに回してください。

ファームウェアを V3.x から V3.x にアップデートする場合

1. M7CL 本体の電源を切っておきます。
2. USB 記憶装置を M7CL の USB 端子に挿入し、M7CL の電源を入れます。
「Start Loading ?」のメッセージが表示されます。
3. OK ボタンを押すと、ファームウェアの読み込みが開始されます。
注意: ファームウェアの読み込み中は、「Loading...」のメッセージが表示されます。読み込みの進捗に伴って「.....」が表示されます。この間は USB 記憶装置にアクセス中なので、USB 記憶装置を M7CL から取り外したり、M7CL の電源を切ったりしないでください。
4. ファームウェアの読み込みが完了したら、USB 記憶装置を取り外して M7CL の電源を切り、SCENE MEMORY [STORE]キーを押しながら M7CL の電源を入れ直します。
5. 「Initialize All Memories ?」のメッセージが表示されたら、INITIALIZE ボタンを押します。
6. 「Are you sure ?」のメッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。
内蔵メモリーの初期化が開始されます。
7. 初期化が完了したら、EXIT ボタンを押します。
8. 必要に応じて、SETUP 画面のバージョンフィールドで、正しくアップデートされていることを確認します。

以上でアップデート作業は完了しました。

必要なデータをバックアップしてある場合は、SAVE/LOAD 機能や(新しいファームウェアバージョンに対応した)M7CL Editor を使ってデータをロードしてください。Administrator のパスワードが設定されていた場合は、パスワードを設定し直してください。

Yamaha Corporation, All Rights Reserved.

© 2009-2010 Yamaha Corporation

C0